

## パブリックコメント結果について

対 象 事 業		第 6 次朝日町総合計画・第 3 期朝日町総合戦略
実 施 期 間		令和 7 年 1 2 月 1 6 日（火）～令和 8 年 1 月 1 4 日（水）
No.	ご 意 見	朝 日 町 の 考 え 方
1	●商店街全体を例えば大村菓子舗で和菓子づくり体験、美容室で芸者さん体験などインバウンド向けの体験施設にしては如何でしょうか。	●本計画では、朝日町の多彩な資源を活力に、商工業や観光の振興を図っていくことをめざしています。お寄せいただいたご意見を参考の一つとして、今後、基本計画の具体化に取り組んでまいります。
2	●第 3 期朝日町総合戦略（R8～R12）に示す、各施策を実施計画（主な取組）に展開し進捗状況を検証する為、「重要業績評価指標（KPI）」に基準値と目標値を明示しています。 KPIの達成には、事業（主な取組）のスケジュールと概算予算が必須です。第 3 期朝日町総合戦略に、スケジュールと概算予算を示すべきと考えます。	●第 6 次朝日町総合計画・第 3 期朝日町総合戦略に掲げた KPI の達成に向けては、本書とは別冊で実施計画を作成し、予算編成の指針としながら具体的な事業を推進していく予定としております。実施計画は、事業計画と財政計画からなり、事務事業の効果・効率や経済性の観点から 3 年間で計画期間とし、毎年度ローリング方式により見直しを行うものであり、この仕組みを通じて着実な推進を図ってまいります。 そのうえで、各施策の実施状況や KPI の進捗については、町民、産官学金労言士等からなる「朝日町総合計画・総合戦略検証委員会」による検証を行い、進捗管理を行ってまいります。
3	●第 6 次朝日町総合計画の作成に、11,760（千円）の予算があり専門業者に依頼しています。ページ数は137で更に増えていきます。膨大な冊子です。町民が興味を持って読まれるには疑問符が付くのではと思われれます。もっとスリム化できないのでしょうか。 提案します。Chat AI、生成 AI、フィジカル AI の進展は急激です。生成 AI を中心に内製化、スリム化するのが、少子高齢化の町に必要です。一考願います。	●第 6 次朝日町総合計画の作成にあたっては、時代の潮流を見通し、実効性を高めるとともに、町民等に共有してより分かりやすい計画とするため、専門的な知見を有する業者からの必要な支援を得ています。今回の冊子は、総合計画と総合戦略を一体的に作成しており、また町職員等の活用に資するため、きめ細かな表現等によりページ数は多くなっておりますが、町民の皆様計画の内容をご理解頂きやすくするため、本編をコンパクトにまとめた概要版を作成する予定です。今後、様々なデジタル技術も積極的に活用しながら、効率的・効果的な計画策定と町民の皆様への周知に努めてまいります。
4	●第 6 次朝日町総合計画の胆である「第 3 期朝日町総合戦略」は、新たな課題の対応、取組効果の向上を図り地方創生を一層浸透させ、朝日町を将来にわたって活力ある持続可能な町にするものです。重要な事は、如何にして町民に広報するかです。「第 3 期朝日町総合戦略」を町民に戦略の全体像、課題の重要性、対策内容の意見等を広報する為に、「朝日町総合戦略だより」の冊子を作成し全戸配布にするなど。「朝日町議会だより」の総合戦略版です。周知率の向上により地方創生が進みます。	●第 6 次朝日町総合計画・第 3 期朝日町総合戦略の広報については、全戸配布である「広報あさひ」において計画内容のあらましを掲載するほか、前述のご意見 3 に対する朝日町の考え方にお示しした概要版を作成し、町ホームページや町から発信する各種 SNS など、多様な広報手段を検討したうえで計画を周知してまいります。
5	●バス停の位置がわかりづらい箇所があるため、改善を望みます。（先日図書館からの帰り、道に身を乗り出して手を挙げたがバス停ではなかったのかバスは止まらなかった）	●あさひまちバスについては、利用率の向上を成果指標として掲げており、地域の実情やニーズに柔軟に対応した効率的・効果的な運行システムを構築し、町民の利用促進を図ってまいります。お寄せいただいたご意見を参考の一つとして、今後、基本計画の具体化に取り組んでまいります。
6	●伐採した木や竹などを利用できないでしょうか。例えば、チップにしたり、木炭や竹炭にしたりして販売するなど。特に竹チップや竹炭は生ごみをたい肥にするのに役立つとともにゴミの減量にもつながります。	●林業については、間伐材の利用拡大を進めてまいります。併せて、環境分野においては、ごみの減量化・資源化の推進に取り組む方針を示しています。お寄せいただいたご意見を参考の一つとして、今後、基本計画の具体化に取り組んでまいります。
7	●不動堂周辺施設について、施設内のトイレが時間帯によって朝夕非常に使いづらくなっています。近くにはコンビニも、いつでも使える公衆便所もないため、トイレを新設するか、または、ふるさと美術館が入る前のように旧なないろ館のトイレを誰もが使いやすくする必要があります。 堅穴住居について、倒壊を防ぎ、安心して見学できるようにしていただきたいです。ふるさと納税やクラウドファンディングなど知恵を絞って何とか貴重な文化財を守りたい。また、堅穴住居周辺の樹木は剪定という伐採により異様な形態になったと感じます。何とか元のような自然樹形に回復させ、本来の景観を取り戻したいです。	●朝日町の生涯学習拠点施設の一つとして、不動堂周辺施設について「文化ゾーン」としての魅力向上や保全に注力しながら、町内外への情報発信を行ってまいります。お寄せいただいたご意見を参考の一つとして、今後、基本計画の具体化に取り組んでまいります。